

豊葉の杜学園で 区内一斉防災訓練!

12月8日、品川区内の各避難所で一斉に防災訓練が行われました。

荏原第五地区は「豊葉の杜学園」を会場に、豊葉の杜学園を避難所とする4町会と、旧杜松小学校を避難所とする3町会、消防署・学校・大崎高校防災活動支援隊・品川区職員など、合わせて146人が参加しました。



10時のサイレンを受けて本部役員が集まり、情報連絡部、衛生部、ボランティア部、防火・警備部、物資供給部の5つの部に分かれて、避難所開設に向けての行動を開始。まずは受付場所を設営し、各町会の避難者の受け入れを始めます。

避難者の方々は、受付で名前を記入すると、避難所のマニュアルを受け取って各町会の待機場所に集合。マニュアルを読んで豊葉の杜学園の施設や備蓄についての知識を深め、救護所では大崎高校の生徒と共に応急救護の訓練を行いました。

避難者が集まってきたところで避難所運営会議議長の中尾会長より訓練開始宣言が行われ、その後、町会ごとに避難教室の見学へ向かいました。



最後に、荏原消防署戸越出張所の村上所長による「自宅でできる災害の備え」というテーマの講演を受けました。実際のデータを基にした説明の後、「自宅でしっかりと備蓄をし、発災時に家を出ずに済むようにすることが何よりも大切。避難所に来るのはあくまで最後の手段と考えてほしい」と、個人個人の準備の大切さを話していました。



施設見学会で 自衛隊 立川駐屯地を見学！

179号 26年1月20日発行

発行：荏原第五地域センター

電話：3785-2000

12月10日、地域振興事業の一環として、連合町会・地区委員会・ふれあいサポート活動会議共催の施設見学会が行われました。

今年の見学地は陸上自衛隊立川駐屯地です。広報室の渡辺室長さんと担当の尾形さんの案内で、立川駐屯地の概要や役割、歴史を学びました。

「東日本大震災の被災者は33万人。そのうち自衛隊が救出した被災者は2万人です。では残りの方はどうしたか」といって、一番活躍したのは近所の方、地元の消防団だそうです。自衛隊は様々な道具を持っていますので、活動を支援できますが、やはり一番大事なのは地域の皆さんの助け合いです」という渡辺室長の言葉に、町会の役割を再認識できました。



2013年のえぼこ



2014年もよろしくお願ひします！